重点施策パッケージの特定基準について

【重点施策パッケージの評価方針】

資源配分方針において、新たな予算編成プロセス導入の際の留意事項として、「研究開発等の目的、達成目標、達成時期が明確であること等に加えて、イノベーションを着実に推進する上で、施策を担う組織が適切に機能を発揮することが極めて重要であることから、施策を推進する組織の実績やマネジメント体制が優れていることを重要な視点の1つとする。」とされていることを踏まえた評価を実施

【重点施策パッケージの特定基準】

○ 目的・目標等について

- 成果検証が可能となる明確な目標とその達成時期が設定されていること。
- 目的・目標が、社会情勢、国際的な水準からみて妥当なものであり、かつ第4期計画の目標、重要課題の達成に大きく貢献すると判断されるものであること。

○ 目標達成に向けたアプローチについて

- 目標達成に必要な取組（社会実装に向けた取組、制度の改善など）が明確であること。

○ 実施体制について

- 適切なマネジメントが期待できるものであること
  - 施策パッケージ責任組織が過去に実施した同程度規模の取組において、どのような目標設定を行い、その目標達成に向けてどのようなマネジメントを行ってきたのか。また、どのような成果を挙げてきたのか。その経験を踏まえ、今回どのようにマネジメントを行うのか。
  - 施策パッケージ責任組織と施策実行組織の役割分担は明確となっているか（施策実行組織の責任と権限は文書等に基づき明確にされているかなど）

＜大臣・総合科学技術会議有識者議員会合資料：案＞

アクションプラン及び施策パッケージによる重点化

平成24年度科学技術関係予算の重点化について

平成24年度科学技術関係予算は、科学技術重要施策「アクションプラン」の対象施策に最重点化するとともに、重点「施策パッケージ」の対象施策に重点化する。

①重要なアクションプラン対象施策への最重点化

○アクションプランのねらいは、総合科学技術会議が、概算要求前に、我が国にとって最も重要な課題の解決に向けて、科学技術関係予算の最重点化を図ること。

○平成24年度のアクションプランは、「復興・再生並びに災害からの安全性向上」、「グリーンイノベーション」、「ライフイノベーション」及び「基礎研究及び人材育成」を柱とする。

②重要な施策パッケージへの重点化

○アクションプランの対象以外の施策については、概算要求後に、重点施策パッケージを特定し、科学技術関係予算を重点化。

なお、第3期基本計画の国家基幹技術や予算規模が大きい基盤的施策については、別途、進捗・改善状況を確認。

＜大臣・総合科学技術会議有識者議員会合資料：案＞